



2022-2023 年度  
1月号  
NO. 400

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

**E F**  
**JEF**

国際会長：K・C・サミュエル(インド)「フェロースhipとインパクトで次の100年へ」  
アジア太平洋地域会長：チェン・チン・ミン(台湾)「新しい未来と共に、エレガントに変化を」  
東日本区理事：佐藤重良(甲府 21) 主題:「未来に向けて今すぐ行動しよう」  
関東東部部長：工藤大丈(東京 伊豆) 主題:「新規技術を縦横に駆使し、効率を重んじる」  
東京ひがしクラブ会長：千代一郎 主題「楽しさをベースに、持続可能なワイズ!!!」

## 1月例会

と き 2023年1月12日(木)

18:30~20:30

ところ 東陽町センターYMCA ホール

受付:須田哲史  
司会:金丸満雄

### ★プログラム

開会点鐘

ワイズソング/ワイズの信条

開会挨拶

会長 千代一郎

食 事

今月の誕生日・結婚記念日

メンバースピーチ

「2023年の意気込み」

各種報告

閉会点鐘

会長 千代一郎

\*\*\*\*\*

### ★今月の誕生日

野澤一弘メン (3日)

山口 紀子メット (6日)



### ✠ 今月の聖句 ✠

『その日には、喜び踊りなさい。天には大きな報いがある。この人々の先祖も、預言者たちに同じことをしたのである。』

—ルカによる福音書 第6章—23節—

## 新年明けましておめでとうございます

会長 千代一郎



この3年間に及ぶ新型コロナ禍の厳しい影響は依然として続いています。我々東京ひがしクラブは、昨年もいつも通りに明るく楽しい諸活動を実施することができました。心より皆様

に感謝いたします。特に、「日本語学校と留学生の基礎知識について」の望月温氏による講師例会、「初挑戦のポップコーンが大好評であった」江東区民まつり模擬店および「第5福竜丸と熱帯植物園も見学できた」夢の島わくわくお散歩アートフェス参加等は、それぞれに楽しい工夫があり、とても有意義でした。

今年は、「第8波のコロナ」とインフルエンザの同時流行が懸念されていますが、これまでに蓄えてきた色々な「ひがしの知恵」を十分に活用することによって、コロナに打ち勝ち、さらに楽しく愉快的な積極的活動を実行していきたいと考えます。恒例行事のピースウォークは、このところ2年連続でズームによるリモート開催でしたが、来る3月こそ是非とも「リアルウォーク」を復活させたいものです。また、クラブ目標の会員増強についても皆様と一緒に一生懸命取り組んでいきたいと思ひます。

今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

## 12月例会

出席者 17名 ビジター 名  
会員出席数 8名 ゲスト 9名  
在籍数 12名  
(広義会員2名)

ひがし会員出席率 80%

## スマイル

12月 19,000 円

※クリスマス献金として  
YMCA 国際協力募金へ  
捧げました。

## 2022-2023 年度役員

会 長 千代一郎  
副会長 金丸満雄  
書 記 金丸満雄  
会 計 須田哲史  
担当主事 沖 利柯

## 12月例会報告(クリスマス)

沖 利柯

12月15日に開催されたクリスマス例会は、メンバー8名以外にOB/東風の会から3名、ゲスト6名の17名が参加して、和気あいあいと楽しく開催されました。特にゲストには故飯田メンのご家族4名、下町こどもダイニングのボランティア2名が参加してくださいました。感謝です。



第一部の礼拝は森村さんのギター演奏で「きよしの夜」を歌いながらキャンドルサービスを行いました。その後野澤一弘メンの周到に用意されたクリスマスメッセージを厳かな雰囲気の中で聞くことができました。また、席上献金の19,000円はYMCAの国際協力募金に捧げることができました。

雰囲気を変えて第二部。皆さんが持ち寄ってくださったたくさんのワインや焼酎などの充実したラインナップのドリンクと共に、楽しい会話を楽しみながらおいしい食事をいただきました。その後のお楽しみタイムでは、クリスマスにまつわるクイズ、方言解説コーナー、英語禁止ルールでのカタカナ言葉の説明ゲームなどグループ対抗ゲームで盛り上がりしました。最後に森村さんの演奏によるクリスマスソングをみんなで歌い、素敵なシクラメンをプレゼントにいただいて帰途につきました。と思いきや、残ったお酒を囲んでスタンド形式の二次会がスタート。コロナを忘れて久々にゆっくり話をすることができました。もちろん感染対策も行って。

気兼ねなくリアルで会える日常が一日も早く戻りますように。メリークリスマス！



## 復活！東陽町クリスマスオープンハウス

12月11日(日)、「東陽町センタークリスマスオープンハウス」が3年ぶりに復活。ひがしクラブのクレープも、前日の準備に続き、早朝から準備を行いスタートに向け準備万端。11時大沼実行委員長・東陽二丁目町会長挨拶による開会式が行われオープンハウスのスタート。



天気にも恵まれ徐々に来館者も増え、ひがしのクレープも新たな焼き手誕生で活気が出てきた。各ワイズの模擬店も元気な声を張り上げ、活気あふれるオープンハウスが戻ってきた。ひがし十八番のクレープには熟年パワー注入に好意の目が集まった。アトリウム各模擬店も大きな掛けで熱気がこもる。午後2時を過ぎると各模擬店は完売が続き、クレープも8キロの生地を焼き続け無事完売となった。

この日の益金は、国際協力募金の他、東陽町コミュニティセンターのプログラムに活用される。

### YMCAニュース

担当主事 沖 利柯

#### ▼クリスマスオープンハウス

12月11日(日)に開催されたオープンハウス。従来通りとはいきませんでしたが約3年ぶりにほぼ復活することができました。アトリウムにはにぎやかな模擬店、バザーや防災コーナー、子どもコーナー、おもちゃ病院、ラケットボール大会、近隣小学校絵画展などなど。お天気にも恵まれ3,000名の方々に参加いただき、にぎやかに楽しい冬の日を過ごすことができました。準備から当日まで、ひがしクラブの皆様のご奉仕に心より感謝いたします。益金は国際協力、地域奉仕、リーダー養成、生活困窮の子どもたちのために用いさせていただきます。有難うございました。

#### ▼子どもクリスマス

「下町こどもダイニング」並びに日本語サポート「にじいろ」に参加している子ども36名、保護者19名が集って「子どもクリスマス」を12月17日に開催しました。いつもの食事に加えて社会体育・保育専門学校の学生たちのクリスマスの劇やビンゴ大会、クリスマスソングで楽しみました。今回は100名近いお料理を調理いただきました。ひがしクラブメンバー、ボランティアの皆様感謝いたします。また、このクリスマス会は多くの皆様のご寄付によって食事からプレゼントまで用意できました。これらの支援の輪は年々広がっています。心より感謝申し上げます。